

H20 年度 協議内容

赤字は協議後の結論

天草市

H20.10.30

天草市の今後の療育に関して

療育の推進等のために、5歳児検診が検討されている中
地域療育センター・第2はまゆう療育園児童デイ（言語訓練療育）が手一杯になっている
しかし、今後の受け入れ体制に関しての整備がなされていない

- ・ ニーズの調査。⇒ 調査の実施
- ・ ニーズから見えてきた必要な支援を、現在ある社会資源（幼。保。小）でどのように展開して行くか。⇒ 幼・保と保健師・専門機関の連携により、園内療育・家庭療育を行い地域での療育を充実させる

12.22

前回のニーズ調査の結果報告

地域での療育環境を底上げして行くために、現在の社会資源の中で必要なことと、実際に動きだしている内容の報告。⇒ 幼・保・保健師のスキルUPが進んでいる。がその中で温度差も現れ始めている

2.25

小・中・高への巡回相談（学校への教育相談）の中から見えてきている課題に関して

- ・ 小のころ、学習面で厳しく周囲の学習から取り残されていたり、学校で過ごす時間がとてもつらくなっている児童が、中学になって体力的にも自己主張が通るようになると不登校になっているケースがとても多い。⇒小～中への支援方法の情報のつながりがとても大切

上天草市

H20.6.24

来年就学する未就学児を中心に、保小連携の協議

保育園が抱えている困り感を持つ就学予定児にどのように支援して行けばいいのか。具体的にわからない。⇒療育相談員・相談支援専門員が保育園に訪問し、担任の思い（不安）の確認や、保護者への面談、保小連携のための具体的支援、児の感り間への手立てなどを一緒に協議する。

2. 3

保育園と専門機関との連携は流れができてきたが、それを小学校へどのように連携していくかは、個人情報ということもあり、保護者確認ができないと実施できない。

保護者・保育園の十分な納得のもとに行われないと、どんなに必要な連携であってもできない。

⇒来年度の支援体制に関して協議

次回から定例会で上がった児童に関する事例も、議案の中にくわえさせて頂きたいと思います